

第一回 川西在宅緩和ケア研修会のご案内

がん終末期においても在宅医療推進が国の施策ですが、地域における緩和ケア普及のためには診療体制の整備と質の向上を図らなければなりません。しかし、緩和ケアに関する情報提供や情報交換が十分とはいえないのが現状です。市立川西病院の緩和ケア病棟開設から半年が過ぎました。今回は、兵庫県の在宅緩和ケアの方針についての報告と事例検討会を行います。緩和ケアにおける各担当者の思いや体験を語り、相互理解と今後の課題も含めて学べる機会になればと考えております。川西市・近隣市町村の医師・看護師・ケアマネジャーなど多職種で、病院・在宅の垣根をこえて緩和ケアについて学び、顔の見える連携が深められる会になりますよう、ご多忙とは存じますがぜひともご参会賜りますようご案内申し上げます。

記

日時：平成 25 年 10 月 26 日（土）午後 3 時から午後 5 時

場所：市立川西病院 1 階 リハビリテーション室

内容：下記の通り

1. 開会挨拶 及び 在宅緩和ケア地域連携の意義

「在宅緩和ケア地域連携事業について」

兵庫県がん診療連携協議会緩和医療部会報告

市立川西病院 外科・緩和ケア科 診療部長 杉本圭司

2. 事例検討会

「緩和ケア病棟から在宅」における緩和ケアを考える

座長 市立川西病院 外科・緩和ケア科 医長 川崎宗謙

同 緩和ケア病棟・緩和ケア認定看護師 沖 由江

パネラー

- 1) 緩和ケア病棟主治医の立場から 市立川西病院 杉本圭司
- 2) 緩和ケア病棟看護師の立場から 同 林谷奈津子
- 3) 地域医療連携室・退院支援看護師の立場から 同 貞松喜代美
- 4) 在宅訪問医の立場から さくらホームケアクリニック 久保雅弘 様
- 5) 訪問看護師の立場から 訪問看護ステーションはるか 佐竹智子 様
- 6) ケアマネジャーの立場から ケア企画ピクニック 澤登かをる様
- 7) 患者家族の立場から 細川三子 様

3. 閉会挨拶 市立川西病院 看護部次長兼緩和ケア病棟師長 南 幸栄

以上